

(乙の4)

(工作物の新築、改築、除却)

1 河川の名称

2 目的

3 場所

4 工作物の名称又は種類

5 工作物の構造又は能力

6 工事の実施方法

7 工期

8 占用面積

9 占用期間

【記載例】

(乙の4)

(工作物の新築、改築、除却)

- 1 河川の名称 ○○川水系 ○○川
- 2 目的 県道(○○○線) ○○橋架設のため
- 3 場所 左岸 ○○県○○市○○○○ 1番地先
右岸 ○○県○○市○○○○ 12番の3地先
- 4 工作物の名称又は種類
○○橋(県道橋)
- 5 工作物の構造又は能力
橋台 2基 鉄筋コンクリート造
橋脚 10基 鉄筋コンクリート造 径○○m
橋桁 10連 鋼製
支間 ○○m 6連
" ○○m 2連
荷重 ○○t
橋梁上部及び取付道路 コンクリート舗装
- 6 工事の実施方法
申請書添付図書のとおり
- 7 工期 許可の日から令和 年 月 日まで
- 8 占用面積 2,000 m²
- 9 占用期間 許可の日から令和 年 月 日まで

【記載要領】

○河川の名称

水系名、河川名、左右岸別（左右岸にまたがる場合には記載の必要はありません）を明記してください。

○目的

法第26条の許可に係る行為の目的と、当該許可に係る工作物のため必要とする土地の占用の目的が一致するような「排水樋管設置のため」「国道〇〇橋架設のため」「水防倉庫設置のため」等と記載してください。

○場所

- ・「字〇〇番地先」まで明記してください。なお、工作物が左右岸にまたがるものは、左岸、右岸にわけて記載してください。
- ・河川保全区域内に工作物が及ぶものについては、河川区域内と河川保全区域内とに分けて記載してください。
- ・当該工作物の敷地が、数個の字又は番地にわたる場合は、その全てを記載してください。

○工作物の名称又は種類

主要な工作物の名称又は種類を記載してください。

○工作物の構造又は能力

主要な工作物について構造又は能力を記載してください。

○工事の実施方法

- ・工事の実施にあたっての治水上の措置、仮排水路及び工事にあたっての仮設物の設置並びに施工の順序等について、工事工程表に照応するよう具体的に記載してください。
- ・工事の実施を記載した図書を別に添付する場合は、「申請書添付図書のとおり」と記載してください。

○工期

特別の事情がない限り工期のみの変更申請をすることのないよう工事工程表を適確に作成し、これにより工期を決定して記載してください。

なお、工期には完成検査日を含めた工期の設定をしてください。

○占用面積

占用面積計算書により1平方メートル未満を切捨てて記載してください。

○変更の許可申請の場合

許可を受けた事項の変更申請にあたっては、変更しない事項についても記載し、かつ、変更する事項については変更前のものを赤書きで併記してください。

○許可の同時申請の場合

排水樋管の設置のためには、高水敷を掘削して水路を設ける等の土地の形状を変更する行為を必要とする場合が多く、これらの行為を法第26条の許可申請と同時にを行う場合においては、（甲）及び（乙の4）に後術の（乙の5）を加えて申請してください。

【添付図書】

○新築等に係る事業の計画の概要を記載した図書

事業の計画の概要を具体的に記載してください。

○位置図

縮尺は1/50,000としてください。

申請箇所を○印（赤書き）で表示し、「申請箇所」と赤書きしてください。

○実測平面図

- ・縮尺は1/100～1/3,000としてください。
- ・申請箇所及び当該申請に係る工作物の設置によって河川に影響があると判断される区域が含まれるようにしてください。
- ・堤防、護岸、水制、寄洲等の状況、流水の方向及び道路等を図示し、申請に係る工作物の平面的な外形及び河川改修計画の法線等を明示してください。なお、河川区域、河川保全区域

及び官民境界線を赤書きしてください。

○実測横断図

- ・縮尺は状況に応じ、1/100～1/1,000 としてください。
- ・堤防を含めた図面を作成し、HWL（計画高水位）を記載してください。
- ・占用申請区間を明示し、河川区域、河川保全区域及び官民境界線を赤書きしてください。
- ・間隔は、50m以内としてください。
- ・実測年月日を附記してください。

○工作物の設計図

- ・工作物の平面図
- ・工作物の正面図（橋梁等の河川横過物にあつては、河川改修計画の定規断面、計画高水位及び余裕高を明記）
- ・工作物の側面図（排水樋管等の堤体横過物については、河川改修計画の定規断面を明示）
- ・工作物の構造図の縮尺は、1/50～1/200 としてください。
- ・取付護岸（根固め含む）の平面図の縮尺は、1/500～1/3000 としてください。
- ・取付護岸（根固め含む）の横断図（現況河床高及び計画河床高を明記）の縮尺は、1/100～1/200 としてください。
- ・取付護岸（根固め含む）の構造図の縮尺は、1/50～1/100 としてください。
- ・堤外導水路の構造図の縮尺は、1/50～1/100 としてください。
- ・各図面には、河川区域、河川保全区域及び官民境界線を赤書きしてください。
- ・堤体を横過して設置する工作物（樋管、樋門等）の側面図には、流下勾配、敷高及び計画高水位を明示してください。
- ・申請工作物設置のため仮締切を必要とするものは、その工法並びに計画高水位及び掘削堤防との関係を明らかにした詳細図を添付してください。

○工事の実施方法を記載した図書

- ・申請書に記載できない場合は、工事の実施方法を記載した図書を添付してください。
- ・工事の実施上の問題点とその対策を記載した図書を添付してください。

○面積計算書及び丈量図

- ・丈量図の縮尺は 1/500～1/1,000 としてください。
- ・単位はメートル法により少数点以下第2位まで計算してください。
面積は、三斜法、座標法、CAD計算により計算し、単位を平方メートルとし、小数点以下第2位まで計算してください。

○工事費概算書

- ・全体の金額のみの記載でも可能です。

○土地の権原に関する図書

- ・河川管理者以外の者が、その権原に基づき管理する土地において新築等を行う場合又は河川管理者以外の者がその権原に基づき管理する工作物について改築若しくは除却を行う場合にあっては、当該新築等を行うことについて申請者が権原を有すること又は権原を取得する見込みが十分であることを示す書面、同意書又は契約書の写しとし、これらが得られない場合は、得られる見込み等についての事情を詳しく記載した書面を添付してください。
- ・土地の権利関係を確認するため、下記の書類を地方法務局等から入手してください。
不動産登記法第14条地図またはこれに準ずる図面（公図）の写し
土地登記簿の謄本または抄本

○他の行政機関の許認可書の写し

- ・新築等に係る行為又は事業に関し、他の行政庁の許可、認可その他の処分を受ける必要があるときは、その処分を受けていることを示す書面又は受ける見込みに関する書面
- ・許可書、認可所等の写しを添付してください。（該当が無い場合は添付不要）

○その他参考となるべき事項を記載した図書

- ・法務局又はその支局若しくは出張所が保存する不動産登記法に基づく地図、又は旧土地台帳の附属地図（更正図）の写しに占用に係る土地の区画を明示し、その区画内を薄赤色に着色してください。

- ・河川区域、河川保全区域及び官民境界線を赤書きしてください。
- ・不動産登記法第14条地図またはこれに準ずる図面（公図）の写し
- ・土地登記簿の謄本または抄本

○現地写真

○その他

- ・上記の書類以外に、申請内容に応じて添付していただく書類があります。